

復興を願う 能登半島地震の被災地へ支援金

▽東日本大震災災佛故者慰霊流灯会



東日本大震災災佛故者慰霊流灯会の立谷幸一会長ら4人は1月11日、市役所を訪れ、令和6年能登半島地震災害への支援金を阿部勝弘副市長に手渡しました。

同支援金は、被災地域を支援するために、同会の積み立て金や会員から集めたもの。

支援金を受け取った阿部副市長は「被災地域はとて

も大変な状況だと聞いています。責任を持って被災地域へお届けします」と述べました。

▽駅東商業会

▽福島県トラック協会相双支部

▽鎗町自治会

▽鎗町生産組合

▽和田観光苺組合

▽和田いちごファーム



各団体の代表者らは2月6日、市役所を訪れ、令和6年

能登半島地震災害への支援金を立谷市長に手渡ししました。

同支援金は、被災した地域を支援するために各団体が集めたもの。

支援金を受け取った立谷市長は「被害の大きかった珠洲市（石川県）を支援するため、責任を持ってお届けします」と述べました。

同支援金は、1月末までに市の募金箱などに寄せられた支援金とともに珠洲市に送られました。

支援いただいた団体および当日来庁した方は次のとおりです（五十音順）。

▽駅東商業会 ▽立谷憲一会
長ら3人

▽福島県トラック協会相双
支部 ▽遠藤秀弥支部長

▽鎗町自治会（大野地区第
8行政区） ▽井上秀雄区長

▽鎗町生産組合 ▽渡辺信一
さん

▽和田観光苺組合・和田い
ちごファーム ▽齋川一朗和
田観光苺組合長

被災地域を支援

能登町給水支援活動報告



能登町（石川県）から戻った市職員2人が1月15日、市役所で立谷市長に能登町給水支援活動報告を行いました。

市は、1月7日から能登町に向けて職員2人と加圧式給水車1台の派遣を開始。

職員らは、地震の影響により広範囲で断水が続く同町で、町民の方や福祉施設などを対象に給水支援を行ったことを説明しました。

報告を受けた立谷市長は、職員らをねぎらいました。

今年1年の無事故を願う

交通安全祈願祭

市交通対策協議会などが主催する交通安全祈願祭は1月11日、相馬中村神社で行われ、関係者ら約15人が出席しました。

当日は、市交通対策協議会ら10団体の代表が玉串をささげた後、神酒を頂戴して、1年の無事故を祈願しました。

市交通対策協議会副会長の高玉良一市議会議長は、「さらに交通安全に取り組みたい」とあいさつしました。



百歳おめでとう 島アキヨさん



百歳を迎えた島アキヨさん（磯部）への賀寿贈呈は1月12日、自宅で行われ、島さんに記念品などが手渡されました。

贈呈されたのは、県から賀寿状と会津塗木杯、市から賀寿状、金屏風型の置き時計、祝い金。

当日は、家族などが同席し、島さんの長寿を祝いました。島さんに聞いた長寿の秘訣は、好き嫌いをせずに何でも食べることです。

1年の無病息災・平穩無事を祈る どんと祭

ふるさと行事「どんと祭」は1月14日、長友グラウンドで行われ、正月飾りなどを燃やし無病息災を祈願しました。市連合商栄会の主催。相馬高校相馬太鼓部による演奏が披露された後、西村年晴同会会長や立谷市長があいさつしました。



火の用心を呼び掛け 市女性消防隊



市女性消防隊の冬季防火広報出発式は1月12日、相馬消防署で行われ、各地区の女性消防隊長など15人が参加しました。

出発に先立ち渡部順子隊長が「この時期は空気が乾燥し、全国各地で火災が発生しています。市民の皆さんに火の用心を呼び掛けていきましよう」とあいさつしました。

隊員らは広報車4台に乗車し、市内各地で火災予防を呼び掛けたほか、市内の商業施設でチラシなどを配布し、啓発活動を行いました。

課題の検証とさらなる強化 防災会議

市の地域防災計画案を審議する防災会議は1月23日、市役所で行われ、防災会議委員ら約40人が参加しました。

会議に先立ち、新しく同会議委員に就任した7人の委員を代表して、佐藤昭仁相馬警察署長に阿部勝弘副市長から委嘱状が手渡されました。

会議では、阿部副市長のあいさつに続いて、事務局が日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策など同計画の修正案を説明しました。



住宅用火災警報器設置状況を調査 市女性消防隊

2月3日、市女性消防隊員



と相馬消防署員らは、住宅用火災警報器設置状況アンケート調査のため、市内10地区を訪問しました。

隊員らは、住宅用火災警報器の設置状況や設置してからの経過年数などを聞き取ったほか、「住宅用火災警報器設置は、火災の早期発見、いち早い消火と避難につながります。必ず設置、点検をしてください」と述べ、火災予防啓発チラシなどを配布し、火の用心を呼びかけました。

スポーツ大会出場報告

▽柔道



スポーツ大会出場報告は、1月11日、市役所で行われ、東北大会に出場する相馬総合高等学校柔道部の選手らが訪れました。

選手らは、令和5年12月8日に開催された第46回全国高等学校柔道選手権大会福島県大会で3位の成績を収め、1月20日から青森県八戸市で開催の東北大会に出場。

報告を受けた高橋利宗生涯学習部長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

▽ソフトテニス

スポーツ大会出場報告は、1月26日、市役所で行われ、東北大会に出場する松本百花選手（八幡小6年）、松本倫佳選手（八幡小4年）の2人が訪れました。

選手らは、1月6日に開催された第30回福島県小学生インドアソフトテニス大会で優秀な成績を収め、2月10日に宮城県仙台市で開催の東北大会に出場。

報告を受けた高橋利宗生涯学習部長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。



食への関心を高めよう

食育標語表彰式

「親子で考えよう！」食育標語表彰式は1月30日、市役所で行われ、入選者14人が訪れました。

保護者と子どもが一緒に食について考えることを目的に実施。

市内全ての小・中学校を対象に行われ、小学校809点、中学校574点の応募の中から、入選作品を選定しました。

当日は、福地憲司教育長が受賞者に表彰状を手渡しました。



受賞を報告

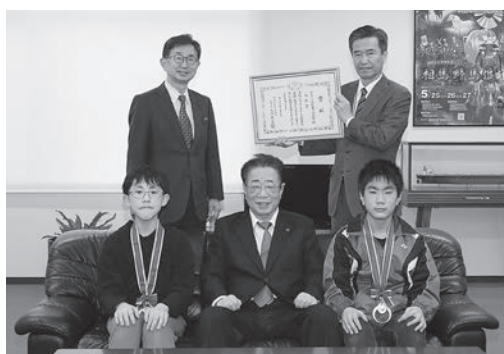
算数ジュニアオリンピック

県算数ジュニアオリンピック受賞報告は2月1日、市役所で行われました。

訪れたのは、県算数ジュニアオリンピック小学生の部で金メダルの齋藤玲さん（中一小6年）と同じく銅メダルの持館寛さん（中一小6年）の2人。

報告を受けた立谷市長は、2人の功績をたたえました。

また、中村第一小学校は、特別賞を受賞しました。



受賞を報告

文部科学大臣優秀教職員表彰

文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞報告は2月1日、市役所で行われました。

訪れたのは、文部科学大臣優秀教職員表彰を受けた佐藤礼奈さん（中一小栄養教諭）。

同賞は、学校教育における教育実践などに顕著な成果をあげた教職員を表彰するもので、佐藤さんは、地域食材や郷土伝統野菜の活用および食育へのさまざまな取り組みなどの成果を認められ受賞しました。

報告を受けた立谷市長は、功績をたたえました。



イチゴ狩りのシーズン到来 和田観光いちご園オープン



市の代表的な観光名所、和田観光いちご園の開園式は1月14日、同園で開かれ、関係者ら約50人が参加しました。和田観光組合の齋川一朗組合長は「イチゴを元気に育てていきたい」とあいさつ。招待された相馬保育園の園児らがお祝いのメッセージや歌を披露し、開園に華を添えました。

訪れた人たちは、笑顔で真っ赤なイチゴを口いっぱい頬張っていました。

野球しようぜ！

大谷翔平選手グローブ

山上小学校に届いた大谷翔平選手贈呈グローブは1月17日、同校で披露され、児童ら約20人が立ち会いました。

同グローブは、米国大リーグドジャースの大谷選手から全国の小学校に贈られたもの。当日は、児童らがグローブが入った箱を開封した後、大谷選手からのメッセージ「野球しようぜ！」を読み上げ、グローブを使ってキャッチボールなどを楽しみました。



フェスティバルを 楽しもう 東部子ども公民館



東部子ども公民館フェスティバル冬は1月27日、同館で開催され、中村第二小学校の児童ら70人が参加しました。同イベントは、同校の1年生〜6年生などを対象に、同館が主催。

会場には、福笑いなど新年らしい遊びが楽しめるコーナーや、こま作りなどの製作コーナーが設けられました。

児童らは、会場を巡ってシールを集めることで参加できるくじ引きに挑戦し、景品をもらっていました。

親子で節分を楽しもう

中央児童センターおやこ教室

中央児童センターおやこ教室「豆まき」は2月2日、同センターで開催され、親子7組15人が参加しました。

同行事は、遊びを主体に子育てを考えることを目的に、同センターの主催。

当日は、オニに見立てた風船にボールを当てる「豆まき」などが行われました。

参加した親子らは、豆まきでオニを追い払い節分気分を味わいました。



特別なピアノで自由に奏でる

市民会館ピアノ開放DAY



市民会館ピアノ開放DAY「スタインウェイが弾きたい！」は2月3日、市民会館で行われ14組35人が参加しました。

同イベントで使用されるピアノは、STEINWAY & SONSの高品質なグランドピアノで、株式会社IHIから寄贈を受けたもの。

当日は、30分ごとに1グループがピアノを演奏し、幅広い世代の方々が思い思いの音色を奏でました。